



静岡地方気象台長からのメッセージ

～新年のごあいさつ～

皆さん、こんにちは。
静岡地方気象台長の中村です。

新年あけましておめでとうございます。



昨年末に内閣府の「平成30年7月豪雨による水害・土砂災害からの避難に関するワーキンググループ」の報告書が公表されました。このワーキンググループは、平成に入り最大の人的被害をもたらした平成30年7月豪雨を教訓とし、激甚化・頻発化する豪雨災害に対し、避難対策強化の検討を行ってきました。

公表された報告書では、『住民が「自らの命は自らが守る」意識を持って自らの判断で避難行動をとり、行政は、それを全力で支援するという住民主体の取り組み改善による防災意識の高い社会』を、今後目指すべき社会として結論づけました。

これにより、行政主体の避難対策には限界があり、国民一人ひとりが主体的に行動しなければそれぞれの命を守ることが難しいということがあらためて示されました。

我々静岡地方気象台が発信する防災気象情報が、県民の皆さまが「自らの命を守る」お役に立てるよう、本年も引き続き、適切な自然現象の監視と、大雨警報などの防災気象情報の発信に努めて参ります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

平成31年1月7日
静岡地方気象台長 中村浩二

【参考】

- 平成30年7月豪雨を踏まえた水害・土砂災害からの避難のあり方について（報告）
（平成30年12月26日公表）

http://www.bousai.go.jp/fusuigai/suigai_dosyaworking/index.html